

# 株式会社ホテルゆのくに環境行動計画

令和 3年 5月17日

## 取組方針

ゆのくに天祥は、開湯 1300 年を超える歴史・文化の深い山代温泉の地に存し、第 46 回「プロが選ぶ日本のホテル・旅館 100 選」(主催:株式会社旅行新聞新社 2020 年 12 月)総合部門 8 位に入選、2020 年度「人気温泉旅館ホテル 250 選」(主催:株式会社観光経済新聞社)『5 つ星の宿』に認定されるなど、同エリア内でも最も利用客数の多い温泉旅館となっています。

当旅館の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら活動していくことを目指していきます。このため、私たちは、当旅館の事業活動が環境に及ぼす影響を最小限にとどめるために、以下の取組を従業員一丸となって推進します。

- ① 省エネルギーを進め、二酸化炭素排出量を抑制します
- ② 廃棄物の削減とリサイクルを進めます。
- ③ 節水に努め、水の適正利用を心掛けます。
- ④ 環境保全の取組みを推進します。

この方針に基づいて従業員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全従業員に周知します。

制定日 平成23年 6月28日




改定日 令和 3年 5月17日

株式会社ホテルゆのくに

代表取締役社長 新滝 英樹

■ 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を低減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

<p>目標一</p>	<p>(・二酸化炭素の総排出量を、平成26年を基準として令和4年までに20%削減する)</p> <table border="1" data-bbox="493 593 1266 734"> <tr> <td data-bbox="493 593 760 734"> <p>基準年の総排出量 5,020,163 (kg-CO<sub>2</sub>)</p> </td> <td data-bbox="760 593 987 734" style="text-align: center;">  </td> <td data-bbox="987 593 1266 734"> <p>目標年の総排出量 4,016,130 (kg-CO<sub>2</sub>)</p> </td> </tr> </table>	<p>基準年の総排出量 5,020,163 (kg-CO<sub>2</sub>)</p>		<p>目標年の総排出量 4,016,130 (kg-CO<sub>2</sub>)</p>
<p>基準年の総排出量 5,020,163 (kg-CO<sub>2</sub>)</p>		<p>目標年の総排出量 4,016,130 (kg-CO<sub>2</sub>)</p>		
<p>具体的な取組</p>	<p>(事業所または工場・施設での取組) (館内での活動)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 空調の設定温度を適正に管理する (冷房温度 28 度、暖房温度 20 度を目安とする)</li> <li>② 空調機器、厨房機器のフィルターを定期的に清掃する</li> <li>③ 空調・換気の運転時間を見直し、不要な時間には運転をしない</li> <li>④ パソコン・コピー機などの OA 機器の電源 OFF を徹底する</li> <li>⑤ 不要箇所、不要時間帯の消灯・減灯を徹底する</li> <li>⑥ 客室の清掃時には自然採光を取り入れ、消灯・減灯する</li> </ol> <p>(厨房に関する取組)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>⑦ 厨房設備(調理器、食器洗浄機等)の管理をマニュアル化する</li> <li>⑧ 給湯・給水の節水を心掛ける</li> </ol> <p>(ボイラー、受電・変電設備に関する取組)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>⑨ 熱源ポンプ等にインバータを導入する</li> <li>⑩ 自動制御設備をチェックし、再調整する</li> <li>⑪ 電力デマンドを管理・適正化する</li> <li>⑫ 個別空調やセントラル空調の温度や稼働設定に管理基準を設け、オペレーションの改善を実施する</li> <li>⑬ 浴槽補給水の運用改善により補給水量を削減し、ボイラーの給湯負荷を低減する</li> <li>⑭ 温度の高い自家源泉を利用し、ボイラーの昇温負荷を低減する</li> </ol> <p>(車両の使用に関する取組)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>⑮ エコドライブを徹底する</li> <li>⑯ 車両の点検を定期的に行う</li> </ol>			

<p>目標一2</p>	<p>・一般廃棄物の排出量を、平成26年を基準として令和4年までに2%削減する</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center; gap: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>基準年の総排出量 239.6 (t)</p> </div> <div style="font-size: 2em;">➔</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>目標年の総排出量 234.8 (t)</p> </div> </div>
<p>具体的な取組</p>	<p>(館内・事務所での取組)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 一般廃棄物及び産業廃棄物の分別処理を徹底・推進し、廃棄物の削減とリサイクル率向上を図る</li> <li>② ファイル、フォルダーなどは繰り返し使用する</li> <li>③ 購入した物品は丁寧に扱い、可能な限り長期間使用する</li> <li>④ 両面印刷、両面コピーを徹底する</li> <li>⑤ 使用済み用紙の裏面を利用する</li> <li>⑥ 書類、資料の電子データ化を進め、印刷物の削減を図る</li> </ol> <p>(商品の仕入れ・販売に関する取組)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>⑦ 仕入れ・納入にはできるだけ通い箱を使用する</li> <li>⑧ 使用済みの段ボール、梱包材、荷造りひもを分別し、リサイクルを推進する</li> </ol>

<p>【目標一3】</p>	<p>・水使用量を、平成26年を基準として令和4年までに 16%削減する</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr> <td style="padding: 5px;">基準年の使用量 98,573 (m<sup>3</sup>)</td> </tr> </table> <span style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">➔</span> <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="padding: 5px;">目標年の使用量 82,801 (m<sup>3</sup>)</td> </tr> </table> </div>	基準年の使用量 98,573 (m <sup>3</sup> )	目標年の使用量 82,801 (m <sup>3</sup> )
基準年の使用量 98,573 (m <sup>3</sup> )			
目標年の使用量 82,801 (m <sup>3</sup> )			
<p>具体的な取組</p>	<p>(館内での取組)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 節水器を設置する</li> <li>② 節水型シャワーヘッド、自動止水栓を導入する</li> <li>③ 水道配管からの漏水を定期的に点検する</li> </ol> <p>(厨房に関する取組)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>④ 食器は、事前に食べ残し等を取り除いてから洗浄する</li> </ol> <p>(浴槽に関する取組)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>⑤ 浴槽補給水の運用改善により、浴槽補給水を削減する</li> <li>⑥ 温泉水を使用可能な限り使用し、上水の補給を減少させる</li> </ol>		